



まちの話題

人権の花を咲かせよう！～「人権の花運動」の取り組み～

「人権の花運動」は、学校に配布した花の種子などを子どもたちが協力して育てることにより、生命の尊さを実感し、その中で豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的に全国各地で実施されている人権啓発活動です。

市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（近藤敦臣さん他8人）の協力のもと、法務省からの委託事業（地域人権啓発活動活性化事業）を活用し、毎年市内小学校2校の持ち回りで「人権の花運動」を実施しています。

今年度は、志佐小学校と星鹿小学校で、「ひまわりの花」の栽培に取り組んでおり、7月4日には、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員が両小学校を訪れ、子どもたちと一緒に、ひまわりの手入れや草取り、水やりを行いました。

「ひまわりの花」の栽培結果は、12月9日（日）に開催予定の「人権講演会」において、会場施設内に掲示されます。

（写真①、②は志佐小学校、③、④は星鹿小学校の取り組みの様子）



中学生の職場体験学習

松浦市内の中学校では職場体験学習に取り組んでいます。職場体験は、身近な社会の現場で実際に勤労体験をすることで、働く大切さや勤労意識を養うことを目的に行われており、生徒たちは、市内のさまざまな事業所に出向いて2～3日間希望する職場に“勤務”します。

今回は、市役所を訪れた5人のうち、志佐中学校3年の大石菜々紗さんと九重紫さんが、市報づくりに取り組みました。カメラと筆記用具を持ち、自分たちで地域の人にインタビューをして記事をまとめました。

生徒が作成した記事を2つご紹介します。

みんなで使う場所だからこそきれいに

白浜団地自治会では、愛護団体活動として清掃・美化活動に取り組んでいますが、今回は、個人でも長年ボランティア活動を行っている志佐町の吉永光子さんに話を伺いました。

吉永さんは、約15年前に白浜バス停の清掃活動を始め、その後、使用するバス停が日の前バス停に変わってからも2つの場所の清掃活動を続けられています。特に、日の前バス停は、ほぼ毎日かかさず朝・夕2回清掃されています。活動を続ける理由を尋ねると、「いつも使っているバス停が汚れているのは嫌だし、みんなに気持ちよく使ってもらいたい」と話され、「運転手さんが、手を振ったりしてくれるのが嬉しい」と活動中の出来事を笑顔で話してくれました。

最後に、これからも清掃活動を続けていきたいと思いを口にされました。



オウゴンオニユリが咲きました

オウゴンオニユリは、対馬の固有種で、黄色に黒い斑点があるオニユリの突然変異種です。自生状態がほぼ皆無となっており、愛好家たちなどが保存に取り組んでいますが、繁殖させるのがとても難しい品種です。

今回、星鹿町の久住呂三さんがこのオウゴンオニユリ栽培方法の特許を取得しました。

特許を取得した栽培方法は、バイオ技術や特別な設備を必要とせず、従来のやり方より個体数を増やすことができるのが特徴だそうで、久住呂さんは、「栽培特許期間が20年あるため、その間に手法を確立させて、松浦を、長崎県の希少な花であるオウゴンオニユリの繁殖地にしたい」と目標を語られました。

久住呂さんは、尊敬する日野原重明先生の言葉どおり、新しいことに挑戦し続けられています。



大会で力と技を競う

会長杯卓球大会

第34回会長杯卓球大会が、7月8日、松浦スポーツセンターで開催されました。

この大会は、小学生からベテランまで区別なく予選リーグを行い、上位をAパート、下位をBパートに振り分けて、決勝トーナメントを実施します。今回、106人が出場し、熱戦が繰り広げられました。

上位の結果は次のとおりです。

- 【男子A】①徳田 聡輝（福島）、②近藤 大喜（有工）
- 【男子B】①山口 翔生（志佐中）、②高尾 響（松高）
- 【女子A】①堀之内佑美（ASAHI）、②米倉ひなた（松高）
- 【女子B】①宮崎 青空（調川中）、②小山 友榮（青島小）



全国大会での活躍を誓う

全国小学生陸上競技交流大会出場

第34回全国小学生陸上競技交流大会長崎県予選が6月24日、長崎県立総合運動公園陸上競技場で開催され、男子走幅跳種目において、鷹島陸上クラブの木谷虎二郎君（鷹島小6年）が、4.91mの見事な跳躍をみせ、優勝に輝きました。

8月に全国大会に出場する木谷君を激励するため、市長が7月10日、鷹島小学校を訪れました。

木谷君は、「自分のスタミナ源はマグロ。マグロを食べて、5.30mの記録を目標に練習を頑張りたい」と抱負を語り、市長は、「県の代表、松浦の代表として、練習の成果を精一杯発揮して欲しい。大会当日（8月18日）は、木谷君の誕生日と聞いた。自分自身で誕生日を祝えるような結果が出せるよう頑張ってもらいたい」と激励しました。



松浦魚市場 鮮魚・加工品販売所の愛称を募集します！

【問合せ先】(一社)松浦魚市場協会 ☎0956-72-2495

松浦魚市場事務所棟1階にオープンした鮮魚・加工品販売所の愛称を募集します。

- 『親しみやすく覚えやすいもの』
- 『施設の特徴がイメージできるもの』

などたくさんのご応募お待ちしております！

募集期間 8月31日（金）まで

応募方法

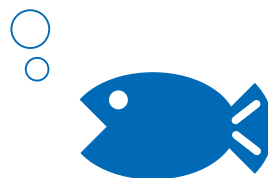
応募用紙に必要事項を記入いただき、応募先へ郵送、FAXまたはご持参ください。

賞品

- 最優秀賞（1点） 5,000円相当（水産加工品）
- 優秀賞（2点） 2,500円相当（水産加工品）

その他

- ・応募用紙は、鮮魚・加工品販売所および市役所水産課で配布しています。
- また、市ホームページからもダウンロードできます。
- ・応募者の氏名、住所等の個人情報は、愛称募集以外に一切使用しません。



- ・当選者の発表は、市ホームページまたは、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募先

○持参する場合

鮮魚・加工品販売所
〒859-4536

松浦市調川町下免695番地 松浦魚市場事務所棟1階

○郵送またはFAXの場合

(一社)松浦魚市場協会

〒859-4536 松浦市調川町下免695番地

☎0956-72-2495、FAX 0956-72-3390